



MIYAGI CINEMA CRADLE

2022.

4

/

17

[日]

せんだいメディアテーク 7階スタジオb

13:30

OPEN13:00

16:00



No.15

映像表現の 可能性を考える

～山田徹監督
新作ラフカットから～

Theme | テーマ

3.11をきっかけに福島で映画制作をする山田徹監督は、出自である東京と福島を結ぶ「道」をテーマに新作を準備中です。映画は、監督が道中で出会う人々や風景を記録したロードムービーですが、まだ未完成です。今回の映像サロンでは、映画になる前の段階であるラフカットを上映し、参加者同士が映像について自由に語り合うディスカッションを行います。監督も参加することで映像表現の可能性を探ります。

Presenter | 発表者



山田 徹

(やまだとおる)

東京生まれ。福島を活動拠点にする作家。女性監督のパイオニアの羽田澄子監督に師事。映画『新地町の漁師たち』(2016)でグリーンイメージ国際環境映像祭大賞を受賞。

参加
お申し込み
[要予約]

○電 話: 080-2773-0181 (砂子)

○メー ル: m.cinemacradle@gmail.com (我妻)

申し込み締切
4/16(土)

〈主催〉 みやぎシネマクラドル、せんだいメディアテーク 〈協力〉 i-くさのねプロジェクト

みやぎシネマクラドル

第15回

映像サロン

〈参加費: 無料 定員: 10名〉

詳しくは
HPへ

※館内では感染防止に取り組んでいます。※事前予約制とし、参加者名簿を作成することをご了承ください。※37.5度以上の熱がある方、咳が出る方、体調の優れない方はご来館をお控えください。※来館時は、マスクの着用、手指の消毒、咳エチケットなど対策をお願いします。※会場内は飲食禁止です。※席の間隔を空けてご着席いただきます。※やむを得ず、中止となる場合があります。ご了承ください。※最新情報は、ウェブサイト等でご確認いただくか、お問い合わせください。





// みやぎシネマクラドルってどんな会？ //

みやぎシネマクラドルは、宮城県仙台市を主な拠点に、映像の作り手と市民が共同でネットワークを広げていくためのプロジェクトとして2015年4月に始まりました。地元どんな作り手がいてどんな活動をしているのか興味はありませんか？お気軽にご参加ください。



活動内容

当会に所属する作り手たちは普段はそれぞれに活動していますが、コミュニケーションツールや交流会を通して親睦を深めるほか、年に数回、せんだいメディアテークの事業「メディアスタディーズ」に参加し、「映像サロン」というイベントを不定期で開催しています。

「映像サロン」の主な内容としては、①「あるテーマについて、会員作品の上映を通して参加者が意見を交わし、考えを深めるもの」と、②「会員の制作途上の作品について参加者が忌憚りの無い意見を出し合い、制作者に還元するもの」と2種類あります。映像を通して参加者が対話し、作り手同士高め合うのが映像サロンの目的です。



メディア
スタディーズ

当プロジェクトは、せんだいメディアテークの事業「メディアスタディーズ」の一環として実施されています。



立ち上げの経緯と目的

当会の立ち上げの背景には、地元で志高く映画を制作している作り手が、お互いの存在を知り、支え合ったり切磋琢磨するための環境を宮城に作る couldn't find a suitable image for this block. I will omit the image tag and use a placeholder text.